

きっと家族の
命をつなぐ。
きっとその時
役に立つ。



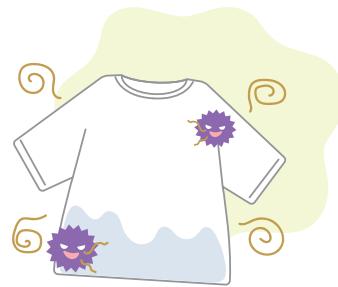
No.

04

必要な備え。

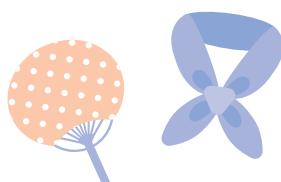
“真夏”の被災時に

防災について「季節」という視点で考えたことはありますか？もしかすると、季節に応じて備えをしている方は少数派なのではないでしょうか。しかし、真夏の備えが十分でないと避難生活はより困難になってしまいます。2007年7月に発生した新潟県中越沖地震では避難所の暑さが問題になったものの、柏崎市ではエアコンの設置までに地震発生から約3週間がかかったといわれています^{※1}。現在も、避難所となる小中学校などの体育館はエアコンの設置率が約15%というデータもあります^{※2}。避難所での暑さを乗り切るためには、冷却グッズなどの涼しく過ごすための備えが重要といえます。



また“汗をかく”という生理現象は避けることができず、不快感を強める以外に衛生的にも好ましくありません。しかし、災害時は断水も起こり得るため、入浴や洗濯ができるなくなる問題が実際に起こります。速乾性のある衣服やドライシャンプー、体拭きシートなどを防災リュックに入れておくと役立つでしょう。

防災への備えは、災害がいつ起きても役に立つからこそ、価値があります。暑い季節に災害に遭ったとき、あなたの備えは役立つものになっていますか？



※1出典：SBS NEWS「真夏の避難所の「暑さ」対策は自治体にも限界 自分たちでできる備えとは＝静岡【わたしの防災】」（2024年5月16日閲覧）
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/106378>

※2出典：文部科学省「公立学校施設の空調(冷房)設備設置状況について」（2024年5月16日閲覧）
https://www.mext.go.jp/content/20220928-mxt_sisetujo-000013462_01.pdf

ママのための 防災ヒント

夏の避難所では
食中毒に注意！



避難所は適切な温度で食品を保管できなかったり、食品の洗浄殺菌が不十分だったりするケースがあります。避難所で提供される食事はすぐに食べるようになり、残り物を保管することは控えましょう。おにぎりなど手に触れる調理行為が多い食べ物は、特に注意が必要です。また食べ物だけではなく水にもご注意を。配給される水がペットボトルの場合は直接口にするのを避け、できるならばその日のうちに飲みましょう。当日飲みきれなかった分は、飲用以外で使用してください。「もったいない」という視点は被災時には持たない方が◎。安全な食事を通して、避難生活を乗り切るパワーを蓄えましょう。

本格的な
夏が
来る前に…

涼しい場所を確保できず、熱中症がとても心配

停電で冷房が使えないときのことを考え、少しでも涼しく過ごす備えも忘れずに。ナテックの「身くるーむ」は、銀色の面を外側にして体に巻き付けると光や熱を反射し、熱がこもるのを防ぎます。そして冷感マスクがあれば、避難所での感染症を防ぎつつ顔周りもひんやり。



汗が止まらず、洗濯もできなくて 体のニオイがつらい…



入浴できない断水時も、ナテックの「ふく温泉」を使えば汗でベタついた体の汚れを簡単に落とせてサッパリできます。洗濯ができず、同じ下着を着用し続けると不快なだけでなく、感染症にかかるリスクが高くなるため、使い捨てショーツの用意がオススメです。ナテックの防災セット(一部)にある抗菌・消臭スプレーで衣服を清潔に保つのも◎。



避難所が蒸し暑く、日差しも強いため 快適に過ごせる場所がない

車のエアコンも暑さ対策の選択肢のひとつ。ナテックの「マグネット・ウインドウカーテン」は車外からの光を遮り車内を涼しく保ちながら、プライバシー空間も確保できます。また「風が通るウインドウネット」をドアにかぶせれば、換気時に窓から虫が侵入するのを防いでくれます。

※走行中は使用しないでください。



ECサイトにて
バックナンバー公開中!

「一人でも多くの人に“備える”大切さを伝えたい」。ナテックがkitに込めた思いを伝える創刊号から、全号を配信中。右の二次元コードからアクセスしてご覧ください。



お問い合わせはkit編集部まで!

住所 〒490-1205 愛知県あま市花正寺浦55番地

TEL 052-449-6222

MAIL natec-emergency@natec01.co.jp

kit No.04

発行者 株式会社ナテック

▲ECサイト